

後期教育ボランティアガイダンスが開催されました！

～10月5日（水）M-12・M-11で行われました～

今年度も新型コロナウイルス感染症が心配されましたが、学生や受け入れ先の方々のご協力のおかげで活動を行うことができています。

今回の後期ガイダンスも多く学生（78人）の参加がありました。まだまだ、新型コロナウイルス感染症が収束したとは言えない状況ですが、教育現場で学びを深め実践できる貴重な機会を大切に、今後の自分につながる活動を行っていきましょう！



教育ボランティア委員長からは、ボランティアに「行く」のではなくボランティア「させていただく」心構えでボランティアを行うなどのお話がありました。また、学生運営委員からは、ボランティアだからこそ知ることができる流行や学校の裏側などの知識が教育実習や教員になった時にとっても役に立つという話でした。

活動の意義 教育ボランティア活動は、教育現場の学習支援等を通じて教員を目指す学生の学びを深めることを目的としていることを認識しました。

活動の留意点 活動先の選び方、活動に臨む際の服装・態度や、情報漏洩を始めとする禁止事項等、留意点と、単位取得条件等を確認しました。委員長からも活動先の先生方から常識を守る行動をするように指導をいただきました。

活動内容の紹介 募集内容一覧を基に、受入先の活動内容を確認し、学習支援・進路相談・部活動指導など多岐にわたることを知りました。また地域学習アシストの活動内容も確認しました。

感染症対策 新型コロナウイルス感染症対策行動指針やマニュアルを確認し、活動2週間前からの健康観察をするよう説明がありました。

◇最後に…

教育ボランティア活動は、現場経験が少ない学生には大きなチャンスです！この貴重な機会を通して学びや経験を積み上げていける活動を行っていきましょう！！

M-12は1・2年生の会場、M-11は3・4年生の会場でした。教育実習が終わった人もこれからの人も教育ボランティア活動でより多くの経験を積もうという意欲を感じました。

